

第21回組合せ論若手研究集会

招待講演アブストラクト

2025年2月17日(月), 18日(火)

慶應義塾大学矢上キャンパス

14棟 創想館 西館2階 14-201 教室

2月17日(月) 和佐州洋氏(法政大学)

「列挙アルゴリズム構築技法の紹介」

列挙問題は、与えられた条件を満たす解を漏れなく重複なく出力する問題である。このような問題を解く列挙アルゴリズムの構築技法として、これまでに Avis と Fukuda による逆探索法や Conte らによる Proximity search など、さまざまな技法が提案されてきた。本講演では、これまでに知られている構築技法の概要と、列挙アルゴリズム特有の計算量解析技法について解説する。さらに、近似やパラメタといった概念の列挙問題への導入といった、困難な列挙問題に対する比較的新しい手法についても紹介する。

2月18日(火) 土屋翔一氏(専修大学)

「HIST と Halin graph 2」

HIST (次数2の頂点を持たない全域木) と Halin graph (HIST から構成される辺極小な3-連結平面グラフ) についての研究は、2000年代に停滞しつつあったが、2010年代にこれらに関する未解決予想のいくつかが解決されたことにより、近年、再び活性化しつつある。本講演では、これらの研究対象とその周辺についてサーベイをおこない、最近の研究動向を紹介する。

※本講演の内容は2023年度秋季総合分科会 応用数学分科会の特別講演(HIST と Halin graph)を再編集し、最近の成果などを追加したものである。